



2018年9月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2018年4月26日

上場会社名 BEENOS株式会社

上場取引所 東

コード番号 3328 URL <http://www.beenos.com>

代表者 (役職名) 代表取締役社長兼グループCEO (氏名) 直井 聖太

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 (氏名) 松田 久典

TEL 03-5739-3350

四半期報告書提出予定日 2018年5月10日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2018年9月期第2四半期の連結業績(2017年10月1日～2018年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2018年9月期第2四半期	10,611	5.9	618	55.0	755	66.8	372	256.9
2017年9月期第2四半期	10,019	9.0	398	16.8	453	10.9	104	65.3

(注) 包括利益 2018年9月期第2四半期 305百万円 (27.8%) 2017年9月期第2四半期 422百万円 (101.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期 純利益
	円 銭	円 銭
2018年9月期第2四半期	30.45	
2017年9月期第2四半期	8.52	8.51

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2018年9月期第2四半期	15,114	9,247	51.3	636.01
2017年9月期	14,749	9,240	53.2	638.13

(参考) 自己資本 2018年9月期第2四半期 7,761百万円 2017年9月期 7,845百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2017年9月期		5.00		13.00	18.00
2018年9月期		0.00			
2018年9月期(予想)				13.00	13.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 1. 2017年9月期の配当原資には、資本剰余金が含まれております。詳細は、後述の「資本剰余金を配当原資とする配当金の内訳」をご覧ください。

2. 2017年9月期第2四半期末配当金の内訳 記念配当 5円00銭

3. 2018年9月期の連結業績予想(2017年10月1日～2018年9月30日)

2018年9月期の連結業績予想につきましては開示を見合わせており記載しておりません。詳しくは、P.4「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2018年9月期2Q	12,332,600 株	2017年9月期	12,332,600 株
期末自己株式数	2018年9月期2Q	129,629 株	2017年9月期	37,718 株
期中平均株式数(四半期累計)	2018年9月期2Q	12,221,527 株	2017年9月期2Q	12,243,073 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。

また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

資本剰余金を配当原資とする配当金の内訳

2017年9月期第2四半期の配当のうち、資本剰余金を配当原資とする配当金の内訳は以下のとおりです。

基準日	第2四半期末	合計
1株当たり配当金	5円 00銭	5円 00銭
配当金総額	61百万円	61百万円

(注) 純資産減少割合 0.009

2017年9月期の配当のうち、資本剰余金を配当原資とする配当金の内訳は以下のとおりです。

基準日	期末	合計
1株当たり配当金	13円 00銭	13円 00銭
配当金総額	159百万円	159百万円

(注) 純資産減少割合 0.023

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(セグメント情報等)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループは、ITとインターネットをベースに新しい市場を切り拓き、新しい産業を創造する「グローバルプラットフォーム」を目指しております。そのような中、今期は既存事業の拡大に加え、「パーティカル構想」・「物販アービトラージ（データベースとAI技術の活用）」・「越境BtoB」の3つをテーマとした新規事業創造を積極的に推進する方針を掲げております。

その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は10,611,108千円（前年同期比5.9%増）、営業利益は618,236千円（前年同期比55.0%増）、経常利益は755,762千円（前年同期比66.8%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は372,193千円（前年同期比256.9%増）となりました。

なお、当社が経営指標として重視している流通総額につきましては、当第2四半期連結累計期間では226億円（今期の計画は430億円）となりました。

事業のセグメント別の業績は、次のとおりであります。

①Eコマース事業

クロスボーダー部門の「海外転送・代理購入事業（FROM JAPAN）」におきましては、国内ECストアや海外Webメディアとの連携による流通総額の増加や、ユーザーからの問い合わせに対するChat対応、スマートフォン最適化によるユーザー満足度の向上を図り、売上高が好調に推移しました。また、物流倉庫やカスタマーサポートの拠点を分散化する等、収益体質の改善にも努めたことにより営業利益も好調に推移しました。

「グローバルショッピング事業（TO JAPAN）」におきましては、国際送料の事前確定モジュールのリリース、SEO対策、アフィリエイトやメディア提携の強化により新規会員の獲得を図り、売上高は堅調に推移しました。また、米国倉庫のさらなる内製化推進のため、一時的に人員増による体制強化を図りました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は2,263,770千円（前年同期比9.7%増）、営業利益は357,866千円（前年同期比13.7%増）となりました。

バリューサイクル部門の「ネット買取販売事業」におきましては、買取面では、当第2四半期連結会計期間も第1四半期連結会計期間に引き続き積極的に広告宣伝費を投下し、買取金額の伸張を図りました。特に、比較的高単価の商品の買い取り強化をプロモーションしたことにより、買取単価が上昇しました。その結果、買取金額は3,071,614千円（前年同期比19.1%増）と大幅に伸長しました。

販売面では、効率的な販売のため、引き続き販路のマルチチャンネル化を推進し、「ヤフオク!」「Yahoo!ショッピング」「Wowma!」の各販路において、「総合賞」「中古アイテム賞」「新人賞」をそれぞれ受賞いたしました。一方、今期より自社販路である「ブランディアオークション」の売上構成比の引き上げを戦略的テーマと掲げており、当第2四半期連結累計期間における売上構成比率は28.3%（前年同期比9.0ポイント増）へ上昇いたしました。

なお、二次流通事業を強化するため、2018年3月1日に酒類の買取販売事業を展開する株式会社帝国酒販を完全子会社化しました。（同年3月末日より連結の範囲に含めております）

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は5,746,394千円（前期同期比6.3%増）、営業利益は286,683千円（前年同期比4.8%減）となりました。

リテールライセンス部門の「商品プロデュース・ライセンス事業」におきましては、エンターテインメント事業のEC販売において、イベントに来場できないファンや先行的に手に入れたファンへのニーズに応えるべく、商品の品揃えや販売施策の強化を行いました。ライセンス事業においては、マスターライセンスを保有するアーティストとのコラボ企画やハンドメイドキャンドルを中心としたインテリア雑貨ブランドSWATi（スワティー）では新たなショップの出店や、新規商品開発にコストを投下し、認知度向上やブランディング強化、商品力強化を図りました。

なお、同部門に含まれていた株式会社ネットプライスは、2017年11月1日に発表した連結子会社の異動（株式譲渡）に関するお知らせのとおり、同年12月1日より連結の範囲から除外しております。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は2,211,409千円（前年同期比13.1%減）、営業利益は34,422千円（前年同期比47.5%減）となりました。

Eコマース事業全体では、当第2四半期連結累計期間の売上高は10,221,574千円（前年同期比2.0%増）、営業利益は678,972千円（前年同期比0.4%減）となりました。

②インキュベーション事業

「投資育成事業」におきましては、新興国ではオンラインマーケットプレイス企業やオンライン決済企業を中心とした投資を、日本国内ではインバウンド消費関連市場のスタートアップ企業を中心とした投資を積極的に進めており、宿泊施設の企画・運営を行うスターリゾート(株)、観光客用手荷物当日配送サービスを行う(株)Airporterに出資をいたしました。

また、既存の投資先については、事業成長にあわせて適切と考えるタイミングで投資回収も進め、当第2四半期連結会計期間に営業投資有価証券の売却益を計上しました。一方、その他保有する営業投資有価証券について、一定の基準に基づいた評価（引当又は減損）も行っております。

「新規事業」におきましては、これまでに蓄積したグローバルに展開するビジネスのノウハウを活用し、さらに既存事業の成長加速化に繋がる新規事業を創造することを目的として、BeeCruise株式会社を設立し、積極的に事業創造を推進しております。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は389,641千円（前年同期は売上高3,322千円）、営業利益は172,165千円（前年同期は営業損失79,880千円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①財政状態の分析

(i) 資産

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は15,114,322千円となり、前連結会計年度末と比べ364,607千円の増加となりました。

内訳といたしましては、流動資産合計が12,916,896千円となり、前連結会計年度末と比べ97,046千円の減少となりました。その主な要因は、増加要因としましては、商品463,804千円、その他に含まれる預け金227,783千円、営業投資有価証券74,114千円の増加、減少要因としましては、現金及び預金665,035千円、未収入金168,230千円の減少であります。

また、固定資産合計は、2,197,426千円となり、前連結会計年度末と比べ461,653千円の増加となりました。その主な要因は、増加要因としましては、のれん354,707千円、投資有価証券142,774千円、建物及び構築物（純額）61,261千円の増加、減少要因としましては、繰延税金資産59,776千円の減少であります。

(ii) 負債

当第2四半期連結会計期間末の負債合計は5,866,604千円となり、前連結会計年度末と比べ356,993千円の増加となりました。

内訳といたしましては、流動負債合計が5,533,988千円となり、前連結会計年度末と比べ278,604千円の増加となりました。その主な要因は、増加要因としましては、未払金458,410千円、短期借入金303,265千円の増加、減少要因としましては、その他に含まれる前受金409,555千円、預り金159,085千円の減少であります。

また、固定負債合計は、332,616千円となり、前連結会計年度末と比べ78,389千円の増加となりました。その主な要因は、長期借入金68,538千円、繰延税金負債14,277千円の増加であります。

(iii) 純資産

当第2四半期連結会計期間末の純資産合計は9,247,717千円となり、前連結会計年度末と比べ7,614千円の増加となりました。その主な要因は、増加要因が利益剰余金372,193千円の増加、減少要因が資本剰余金173,325千円、自己株式の取得133,441千円の減少であります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末の現金及び現金同等物（以下「資金」という）は6,285,125千円となり、前連結会計年度末と比べ460,502千円の減少となりました。

各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は以下のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間において営業活動による資金の減少は、83,939千円となりました。その主な要因は、増加要因としましては、税金等調整前四半期純利益779,949千円、未払金の増加額399,354千円であり、減少要因としましては、売上債権の増加額555,240千円、たな卸資産の増加額312,410千円であります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間において投資活動による資金の減少は、299,626千円となりました。その主な要因は、増加要因としましては、投資事業組合からの分配金による収入117,016千円であり、減少要因としましては、連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出229,187千円、投資有価証券の取得による支出120,571千円であります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間において財務活動による資金の減少は、29,825千円となりました。その主な要因は、増加要因としましては、短期借入金の増加額275,000千円、減少要因としましては、配当金の支払額158,930千円、自己株式の取得による支出145,276千円であります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2018年9月期の通期の連結業績予想につきましては、インキュベーション事業において、売上（売却益）の発生時期及び金額を見積もり発表することが合理的ではないと判断していること、また新規事業への積極的な取り組みを重要戦略として計画しておりますが、その投資の時期や金額の規模については、機動的に判断していく予定であることから、業績予想の開示を見合わせております。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2017年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2018年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,542,131	5,877,096
受取手形及び売掛金	841,345	818,816
営業投資有価証券	2,568,278	2,642,392
商品	1,109,251	1,573,056
未収入金	1,178,062	1,009,831
繰延税金資産	143,967	119,405
その他	648,000	898,023
貸倒引当金	△17,094	△21,726
流動資産合計	13,013,942	12,916,896
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	404,897	468,248
減価償却累計額	△184,664	△186,754
建物及び構築物（純額）	220,232	281,494
車両運搬具	-	9,327
減価償却累計額	-	△6,533
車両運搬具（純額）	-	2,794
工具、器具及び備品	134,432	151,218
減価償却累計額	△100,754	△100,761
工具、器具及び備品（純額）	33,677	50,456
有形固定資産合計	253,910	334,745
無形固定資産		
のれん	92,971	447,678
その他	161,066	143,811
無形固定資産合計	254,037	591,490
投資その他の資産		
投資有価証券	667,083	809,858
繰延税金資産	80,915	21,139
その他	479,824	440,192
投資その他の資産合計	1,227,824	1,271,190
固定資産合計	1,735,772	2,197,426
資産合計	14,749,714	15,114,322

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2017年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2018年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	440,379	475,345
短期借入金	1,118,645	1,421,910
1年内返済予定の長期借入金	29,040	171,033
未払金	1,654,134	2,112,544
預り金	825,046	665,960
未払法人税等	313,325	188,769
繰延税金負債	2,266	9,991
その他	872,545	488,432
流動負債合計	5,255,384	5,533,988
固定負債		
長期借入金	82,942	151,480
資産除去債務	163,423	165,980
繰延税金負債	877	15,155
その他	6,983	-
固定負債合計	254,227	332,616
負債合計	5,509,611	5,866,604
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,775,840	2,775,840
資本剰余金	2,892,687	2,719,362
利益剰余金	1,966,473	2,338,666
自己株式	△53,767	△187,208
株主資本合計	7,581,233	7,646,660
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	34,689	△2,811
為替換算調整勘定	229,793	117,353
その他の包括利益累計額合計	264,482	114,541
新株予約権	5,256	3,401
非支配株主持分	1,389,130	1,483,114
純資産合計	9,240,103	9,247,717
負債純資産合計	14,749,714	15,114,322

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2016年10月1日 至2017年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自2017年10月1日 至2018年3月31日)
売上高	10,019,417	10,611,108
売上原価	4,818,017	4,915,676
売上総利益	5,201,399	5,695,431
販売費及び一般管理費	4,802,472	5,077,195
営業利益	398,927	618,236
営業外収益		
受取利息	86	44
持分法による投資利益	32,611	22,592
投資事業組合運用益	31,629	122,989
償却債権取立益	1,149	—
その他	5,224	6,497
営業外収益合計	70,701	152,123
営業外費用		
支払利息	5,699	6,508
為替差損	10,060	7,996
その他	860	91
営業外費用合計	16,620	14,597
経常利益	453,008	755,762
特別利益		
関係会社株式売却益	—	24,187
特別利益合計	—	24,187
税金等調整前四半期純利益	453,008	779,949
法人税、住民税及び事業税	152,065	218,281
法人税等調整額	107,430	106,421
法人税等合計	259,496	324,703
四半期純利益	193,511	455,246
非支配株主に帰属する四半期純利益	89,225	83,053
親会社株主に帰属する四半期純利益	104,286	372,193

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2016年10月1日 至2017年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自2017年10月1日 至2018年3月31日)
四半期純利益	193,511	455,246
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	66,907	△37,391
為替換算調整勘定	153,620	△107,282
持分法適用会社に対する持分相当額	8,815	△5,266
その他の包括利益合計	229,343	△149,940
四半期包括利益	422,855	305,306
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	333,629	222,252
非支配株主に係る四半期包括利益	89,225	83,053

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2016年10月1日 至2017年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自2017年10月1日 至2018年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	453,008	779,949
減価償却費	35,555	40,424
のれん償却額	13,263	16,362
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△5,961	3,455
株式報酬費用	6,861	16,620
受取利息及び受取配当金	△86	△44
支払利息	5,699	6,508
為替差損益(△は益)	34,826	△21,682
持分法による投資損益(△は益)	△32,611	△22,592
関係会社株式売却損益(△は益)	—	△24,187
投資事業組合運用損益(△は益)	△31,629	△122,989
売上債権の増減額(△は増加)	106,963	△555,240
営業投資有価証券の増減額(△は増加)	△418,286	△203,617
たな卸資産の増減額(△は増加)	138,062	△312,410
仕入債務の増減額(△は減少)	127,094	247,064
未払金の増減額(△は減少)	△386,823	399,354
預り金の増減額(△は減少)	249,562	△158,715
未払消費税等の増減額(△は減少)	△24,522	△36,918
その他	△20,263	196,624
小計	250,713	247,966
利息及び配当金の受取額	76	53
利息の支払額	△5,679	△6,574
法人税等の還付額	10,156	783
法人税等の支払額	△232,952	△326,166
営業活動によるキャッシュ・フロー	22,314	△83,939
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△57,719	△85,669
無形固定資産の取得による支出	△34,245	△8,099
投資有価証券の取得による支出	△104,724	△120,571
敷金及び保証金の差入による支出	△9,827	△4,714
投資事業組合からの分配金による収入	109,607	117,016
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	16,487	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	—	△229,187
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入	—	31,294
貸付けによる支出	△30,500	—
その他	841	304
投資活動によるキャッシュ・フロー	△110,079	△299,626

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2016年10月1日 至 2017年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2017年10月1日 至 2018年3月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の増減額 (△は減少)	—	275,000
長期借入金の返済による支出	△10,080	△7,800
リース債務の返済による支出	△1,109	△382
ストックオプションの行使による収入	15,974	4,206
自己株式の取得による支出	—	△145,276
非支配株主からの払込みによる収入	8,740	3,420
子会社の自己株式の取得による支出	—	△62
配当金の支払額	△155,700	△158,930
財務活動によるキャッシュ・フロー	△142,175	△29,825
現金及び現金同等物に係る換算差額	50,743	△47,111
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△179,197	△460,502
現金及び現金同等物の期首残高	6,619,733	6,745,628
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,440,536	6,285,125

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2016年10月1日 至 2017年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	Eコマース事業				インキュ ベーション 事業	合計		
	クロス ボーダー 部門	バリュー サイクル 部門	リテール・ ライセンス 部門	小計				
売上高								
外部顧客への 売上高	2,063,417	5,407,850	2,544,826	10,016,094	3,322	10,019,417	—	10,019,417
セグメント 間の内部売 上高又は振 替高	—	—	1,233	1,233	—	1,233	△1,233	—
計	2,063,417	5,407,850	2,546,060	10,017,328	3,322	10,020,650	△1,233	10,019,417
セグメント利 益又は損失 (△)	314,799	301,022	65,614	681,436	△79,880	601,556	△202,628	398,927

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△202,628千円には、セグメント間取引の消去△52,665千円、各報告セグメントに配分していない全社収益190,871千円及び全社費用△340,834千円が含まれております。全社収益は、主に当社におけるグループ会社からの受取手数料であります。全社費用は、主に当社におけるグループ管理に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自 2017年10月1日 至 2018年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	Eコマース事業				インキュ ベーション 事業	合計		
	クロス ボーダー 部門	バリュー サイクル 部門	リテール・ ライセンス 部門	小計				
売上高								
外部顧客へ の売上高	2,263,548	5,746,394	2,210,893	10,220,836	389,641	10,610,478	630	10,611,108
セグメント 間の内部売 上高又は振 替高	222	—	515	738	—	738	△738	—
計	2,263,770	5,746,394	2,211,409	10,221,574	389,641	10,611,216	△107	10,611,108
セグメント利 益	357,866	286,683	34,422	678,972	172,165	851,137	△232,901	618,236

(注) 1. セグメント利益の調整額△232,901千円には、セグメント間取引の消去△172,443千円、各報告セグメントに配分していない全社収益309,013千円及び全社費用△369,471千円が含まれております。全社収益は、主に当社におけるグループ会社からの受取手数料であります。全社費用は、主に当社におけるグループ管理に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

「Eコマース事業 バリューサイクル部門」セグメントにおいて、2018年3月1日付で株式会社帝国酒販の株式を取得しました。なお、当該事象によるのれんの増加額は、当第2四半期連結累計期間においては371,069千円でありませ

ず。なお、この取得取引にかかる取得原価の配分が完了していないため、当該のれんの金額は暫定的に算定された金額であります。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。